事業所における自己評価(公表)

児童発達支援

公表: 令和 年 月 日 事業所名 第3親子教室うみべ

<u> 121</u>	汉.	<u> </u>		尹木	別石 弟3祝丁叙至づかへ	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえ た改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関 係で適切である	0		基準を満たしている。	子ども達が過ごしやすい配置を 考えていく。
	2	職員の配置数は適切である	0		基準以上の人数をそろえてい る。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	0		子どものマークを付けるなど分 かりやすい工夫をしている。	生活動線なども考えていく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	0		毎日の清掃、おもちゃの消毒を 行っている。 年齢に合わせたテーブル・イス を用意している。	
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 しているか		4		全職員への周知は難しい。 話し合いは続けていく
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に 対して事業所の評価を実施するとともに、 保護者等の意向等を把握し、業務改善に つなげている	0		アンケートや面談などで意見を聞いている。	頂いたニーズにどうこたえてい けるかの検討は必要
業務改善	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け 評価表の結果を踏まえ、事業所として自己 評価を行うとともに、その結果による支援 の質の評価及び改善の内容を、事業所の 会報やホームページ等で公開している	0		ガイドラインのアンケートを行い、集計して公開している	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果 を業務改善につなげている	0		第三者評価を実施している	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の 機会を確保している	0		研修の情報を提供している	曜日などで参加できないものも あるのでもっと参加しやすい対 応が必要
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上 で、児童発達支援計画を作成している	0		アセスメントを行い、それをもと に支援計画を立てている	
	11)	子どもの適応行動の状況を図るために、 標準化されたアセスメントツールを使用し ている		0	児童と放デイで別にしている	内容の検討はこれからも考えて いく必要はあると思う
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	0			ガイドラインの理解を深める必 要はある

	13	児童発達支援計画に沿った支援が行わ れている	0			
	14)	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	0		リーダーの職員を中心に話し 合っている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫し ている	0			マンネリ化しないようにいろいろ な内容を検討していく
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画 を作成している	0		集団療育と個別指導を行ってい る	
	17)	支援開始前には職員間で必ず打合せを し、その日行われる支援の内容や役割分 担について確認している	0		朝、内容を伝えている	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行 い、気付いた点等を共有している	0		毎回反省会をしている	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底 し、支援の検証・改善につなげている	0		個別支援ファイルに内容、反省 を記入している	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支 援計画の見直しの必要性を判断している	0		モニタリングをしている	
関係機関や保護者との連携		障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	0			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係 者や関係機関と連携した支援を行っている	0			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身 障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育 等の関係機関と連携した支援を行っている			対象児なし	
	24	サともの主治医や協力医療機関等と連絡 体制を整えている			対象児なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、 幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間 で、支援内容等の情報共有と相互理解を 図っている	0		申し送り書を作っている 園を見学させてもらい連携を とっている	連携の頻度をもう少し増やしていけるとよい
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校 (小学部)との間で、支援内容等の情報共 有と相互理解を図っている		\triangleleft		学校公開で様子を見させてもら う程度しか出来ていない
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0		児童事業所連絡会に参加して いる	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		Ο		交流は難しい
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子 ども・子育て会議等へ積極的に参加してい る	0		法人として代表者が出席している	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について 共通理解を持っている	0		定期的に面談を行い、子どもの 姿を伝え共通理解を深めている	

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		0	保護者会・勉強会は行っている	ペアレントトレーニングとしては 内容の検討が必要
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な 説明を行っている	0			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援 内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明 を行い、保護者から児童発達支援計画の 同意を得ている	0		支援計画は口頭でも説明をして 同意を求めている	
保護者へ	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等 に対する相談に適切に応じ、必要な助言と 支援を行っている	0		定期的に面談を行っている	
の説明責	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会 等を開催する等により、保護者同士の連 携を支援している	0		保護者会を行い、情報提供や交流をしている	
任等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	0		面談以外にも相談にすぐに対応 出来るようにしている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行 事予定、連絡体制等の情報を子どもや保 護者に対して発信している	0		おやこ教室ニュースの発行 ホームページの開設	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	0		個人情報提供同意書を作り十 分に注意している	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	0		文書を作ったり、メールで伝える など分かりやすい方法を考えて いる	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	0		おやこまつりを開催	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルを策定し、職員や保 護者に周知するとともに、発生を想定した 訓練を実施している	0		マニュアル作成している	訓練も行っているが、頻度は もっと増やしていきたい
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出その他必要な訓練を行っている	0			いろいろな状況を想定した訓練 も必要だと考えている
非常	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作 等のこどもの状況を確認している	0		フェイスシートを作成して把握し ている	情報の上書きをしっかり確認し ていく必要がある
時等の	44	食物アレルギーのある子どもについて、医 師の指示書に基づく対応がされている	0		確認 結果を提出してもらうようにしている	職員に周知出来るようにする方 法を検討していく
対応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有している	0		すぐに記入出来るように用紙を 用意している	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を 確保する等、適切な対応をしている	0			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を 行うかについて、組織的に決定し、子ども や保護者に事前に十分に説明し了解を得 た上で、児童発達計画に記載している	0			